

○20番 佐藤青葉君

長峽中学校3年、佐藤青葉です。まず、自転車通学について質問します。

私は、自転車で通学することがありますが、道路のルールと通学環境の間で困ることがあります。法律では、自転車は車道の左側を走る、と決まっており、最近では青切符の話題もあります。私たちの年齢では、反則金の対象にはなりません、ルールを破ってしまうことになります。

私が通る通学路は、車道の端がガタガタで狭く、バランスを崩しそうになる場所があり、歩道もとても狭いです。ルールを守って走ろうとすると危険になり、安全に走ろうとするとルール違反になるという状態です。こういった全ての道を安全にするのは難しいと思います。なので、通学路の車道の左端だけでも平らな道の補修すること、また、自転車が通れる位置をカラー舗装で区別したり、自転車通行可の場所や標識を検討してほしいです。執行部は、どのようにお考えでしょうか。

○後半議長 荒木優丞君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えします。佐藤議員のご指摘のとおり、市内には道路幅が狭い所が多数存在しています。特に朝夕の通勤・通学のラッシュ時間帯等においては、歩行者や自転車がちょっと出てしまったり、車のドライバーも非常に危険な思いをされたり、あるいは歩行者、自転車の方も危険な思いをされたことが実際にあるかと思っています。

自転車や歩行者が安全に通行できる最も有効な手段というのは、議員おっしゃるように、本当は車と自転車、歩行者が通るレーン、自転車専用レーンと俗に言われますけれども、そういったものがあるに越したことはない。ところが、これも議員おっしゃってくださっているように、実際に道幅も限られていますので、全てにおいてそういった自転車専用レーンができるわけではないんですね。

ちなみに行橋市の駅前通り、駅東口は、いま拡幅工事をやっておりますけれども、そこは歩道が広がって、あそこは2車線になることはないんですが車道が若干広がり、そして歩道が広がり、そして自転車専用レーンもつくられる予定でございます。

議員がおっしゃったように、まずできること。道幅がある所に関しては、自転車専用レーンをつくることも可能かもしれません。ただ、そうでない箇所が多数ございますので、そういった所は、ガタガタをできるだけ平らにしていくとか、側溝のふた等が、ガタガタになって、つまりいて、という事例が実際に通学路で起こっておりますので、そういった所をできるだけ早く改善をしていく、そういったことに努めたいと思います。

後は、やはり優先順位、そして予算がかかってきますので、その辺を総合的に考えて、

危険な箇所から順次対応してまいりたいと思っています。

また、カラー舗装につきましても、やっぱり視覚的な効果がございますので、道幅が広がらなくても、カラー舗装されているだけで安全に注意をする注意喚起にもつながりますので、そういったところをいま現在も取り組んでいるところでございますが、引き続き取り組みたい。併せて道路標識の設置についても、必要に応じて警察と協議して設置に努めたいと思っています。以上です。

○後半議長 荒木優丞君

佐藤議員。

○20番 佐藤青葉君

ありがとうございました。道路について、よく分かりました。

次に、通学路における街灯について質問します。冬など暗くなる時間帯になると、長峡中学校周辺など街灯が少ない場所は、視界の範囲が狭く道路状況が判断できないため、危険を感じる場合があります。このようなことから、さらに安心して登下校できるように主要な通学路に街灯を増やしてほしいです。執行部は、どのようにお考えでしょうか。

○後半議長 荒木優丞君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えします。佐藤議員のお考えに、基本的には同意です。

これ、前の議員の質問でも申し上げましたけれども、行橋市の防犯灯数は、全体で8,798箇所あります。この内、LED化、要は明るくてしかも電気代があまりかからないと言いますか、長期間にわたって使うことができるLEDライトの普及が、いま全体で77.2パーセントになっています。議員がお住いの長峡中学校区には1,301個の防犯灯がございます。

議員がおっしゃるように、冬は、特に民家が少ないような所だったり、そして防犯灯がない所では、非常に怖い、心細いという思いもされるのではないかなと思っています。

我々としましては、区長さんをはじめとする地元の方々との協議をしたうえで、この防犯灯が必要な箇所には、前向きにつけてまいりたいと思います。

1点ですね、この防犯灯については、設置は市のほうでやるのですが、その後の電気代などの管理は、基本的には地元のほうにお願いしております。ここで電気代といったものが地元負担になってきますので、そことの兼ね合いもございます。いま現在、防犯灯についての電気代については、もう少し行政、市のほうで負担できるようにしたいと私は考えておりまして、今その辺を内部で計画を進めている段階でございます。

今後におきましても、防犯灯の設置やLEDへの取替え等を計画的に進めていくとと

もに、ぜひともまた議員からも引き続き、ここが危ないとか、そういった所があればご提言いただきたいと思います。以上です。

○後半議長 荒木優丞君

佐藤議員。

○20番 佐藤青葉君

ありがとうございました。次の質問に移ります。

次に、地域活性化における参加についての質問をします。私は、昨年度、京築みらい塾に参加しました。そこでは、行橋市をより良くしようと真剣に活動する方々と交流し、地域の課題や自分たちのまちの未来について考える貴重な機会をいただきました。地域で活躍するリーダーを目ざして、仲間とともに様々なことを学べる、京築みらい塾を今後も続けてほしいです。執行部は、どのようにお考えでしょうか。

○後半議長 荒木優丞君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

昨年度、京築みらい塾にご参加いただきまして、ありがとうございました。

京築みらい塾は、行橋市と周辺6市町、福岡県で行った事業で、27名の中学生に参加していただきました。京築みらい塾にご参加いただいたことで、高い志を持つ仲間と刺激をし合え、学校以外での一生ものの出会いがあったのではないのでしょうか。また、実際に地域で活躍している大人の経験を聞くことで、将来の進路の参考になったり、行橋市や京築地区への視野が圧倒的に広がったのではないのでしょうか。これらの経験は、参加した皆さんの今後の人生に好影響をもたらすと考えております。

京築みらい塾は今年度も実施する予定ですが、来年度以降もこの取り組みを続けていくためには、どういう枠組みやかたちがいいのか、現在、福岡県や関係市町と協議を行っております。行橋市としては、たとえかたちが変わったとしても、未来のリーダーの育成につながる同様の取り組みは必要であると考えていますので、継続に向けて努力をしまいたいと考えています。以上です。

○後半議長 荒木優丞君

佐藤議員。

○20番 佐藤青葉君

継続されると聞いて、安心しました。

次に、行橋市の魅力発信についての提案があります。現在、行橋市の特産品であるイチジクなどがあまり広く知られていない現状を改善したいと考えています。

行橋市の良さをPRするために、まずは私たち中学生の意見を聞く機会をつくっても

らえないでしょうか。具体的には、学校で使い慣れている授業支援アプリのロイロノートを活用して意見を集め、イチジクの訳あり商品の販売企画などをみんなで共有し、私たちが主体的に市のPRなどに関われる仕組みをつくっていただきたいです。

執行部は、どのようにお考えでしょうか。

○後半議長 荒木優丞君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

ぜひやりたいと思います。これは教育委員会の担当にもなりますので、教育委員会、そして学校の先生方にもご相談させていただきながら、ロイロノートを効果的に使って、皆さん方のご意見を反映させていただきたいと思います。以上です。

○後半議長 荒木優丞君

佐藤議員。

○20番 佐藤青葉君

以上で質問を終わります。ありがとうございました。